# 建設企業ガイダンス及び建設業お試し体験会の広報及び運営業務

# 公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨・書面審査）

| 項　　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 日　　時 | 令和８年 11 月 17 日 |
| 2 | 場　　所 | ― |
| 3 | 出席委員 | 土木建築局建設産業課長（代理出席）<br>土木建築局　技術企画課　技術管理担当監<br>総務局　広報課長（代理出席）<br>商工労働局　雇用労働政策課長（代理出席）<br>土木建築局土木建築総務課長 |
| 4 | 議　　題 | 建設企業ガイダンス及び建設業お試し体験会の広報及び運営業務委託予定者の選定（書面審査） |
| 5 | 担当部署 | 土木建築局　建設産業課 |
| 6 | 開催方法 | １　参集（オンライン開催）<br>２　持ち回り |
| 7 | 議事内容 | 提出された提案書を基に書面審査を行い、上位３社（B～D 社）をプレゼンテーションによる審査候補として決定した。<br><br>１　審査対象者<br>Ａ社　株式会社ＲＣＣフロンティア<br>Ｂ社　ヒューマンアカデミー株式会社<br>Ｃ社　株式会社広島ホームテレビ<br>Ｄ社　株式会社中国新聞社<br><br>２　審査結果<br>（１）審査対象者の評価値<br>別紙のとおり |

（２）提案者ごとの主な評価・選定理由

【Ａ社　株式会社ＲＣＣフロンティア】

・広告配信等の提案内容が参加者数の目標に対して不十分と思われる

・運営プログラムについて、当日スケジュールが不明瞭だった。

・体験会で体験枠を設定し予約管理をすることで混雑回避が図られている。

【Ｂ社　ヒューマンアカデミー株式会社】

・ターゲットにアプローチする具体的なチャネルが複数選定されており、広告の効果に期待が持てる。

・ブースツアーによる複数企業との効率的な情報収集のサポートの配慮がある。

・当日の運営体制は一般的

【Ｃ社　株式会社広島ホームテレビ】

・TV 番組の放送など多様な情報発信手段によって、親世代など直接のターゲット以外にもイベントを訴求する点は良い。

・高めの集客目標値設定に対して、リーチ獲得後に行動変容に繋げるための設計についての工夫が見えにくく、一部実現可能性に疑問があった。

・ステージプログラムや会場ライブ中継、スタンプラリー等により、交流を促す工夫がされている。また、他社にない、イベント後のフォロー（マッチング支援）まで考えられている。

【Ｄ社　株式会社中国新聞社】

・想定ターゲットに対してデジタル・アナログ媒体を連携させてアプローチする方法に期待が持てる。

・Web 広告をはじめ、広報活動の効果検証についての設計を備えている点が良い。

・教員への事前レクチャーや高校生向け事前ガイドの事前配布などにより、無駄なく効果的な事前の情報収集が図られている。